



広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

夏
プ
レ
ル
だ
ね
ぱ
り

2011

8

平成23年8月1日
No. 573

篠原幼稚園のプール遊びが7月13日(水)、
B & G 海洋センターで行われました。友達
や先生と楽しく遊んだ園児たち。無邪気に
はしゃぐ姿・笑顔がとても印象的でした。

今月号の主な内容

I P 告知端末機 本格運用を開始 P 2 ~ 3

ZOOM-UP HANAWA2011 富田 正さん黄綬褒章を受章 ... P 4

伊香おすわさま P 12 ~ 13

I-P告知端末機 放送の内容

▶チャイム（毎日・屋外のみ）

- ・午前6時 恋は水色
- ・正午 エリーゼのために
- ・午後6時 ふるさと

▶定時放送（原則月～金曜日・ピンポンパンボーン♪の後に放送）

- ・午前6時30分 午後7時30分

※町からのさまざまな情報を放送します

▶一般放送（随時・ベル音の後に放送・画面をタッチすると音声が流れます・画像のみの場合もあり）

- ・放射線量、おくやみ申し上げます、こんちは赤ちゃんなど

▶緊急放送（火事・災害などの発生時・サイレン音の後に放送）

▶行政区長からの放送（随時）

- ・行政区長から区民向けへの放送ができるようになっています。

（毎年4月、各区長に権限を付与します）

故障かな？と思ったら よくあるご質問にお答えします

音量を大きくしても電話で相手の声が聞こえない・・・

画面が正常に表示されない・・・

こんなときは、再起動をしてみてください。

・画面の裏にある電源ボタンを1秒程度押します。

・画面上の再起動を押します。

・正常画面が表示するまでしばらくお待ちください。（約4～5分）

・正常画面に戻ってから使用しても異常がある場合は、各行政区の情報通信機器活用推進員または総務課へご連絡ください。



○印のボタンを押して再起動を行ってください

問い合わせ
総務課企画情報係
I-P電話(43)75003
固定電話(43)21111

光の可能性は無限大
その可能性やメリットは無限大です。今回の光ファイバー網の整備は、塙町にとって希望の「光」です。今後の発展性が期待されます。



今までの防災無線と違い、何回でも見たり聞いたりできるのがいいですね。操作も、画面をさわるだけなのでとても簡単です。テレビ電話は、最初は戸惑いましたが、お互いに顔を見て話ができるのがうれしいです。これからも、生活に役立つ情報を掲載してほしいですね。

小峰 政生さん
(那倉)

からの各種情報を音声・文字・画像で受信できるようになりました。また、国が発信する防災緊急情報を受信・配信する全国瞬時警報システム（J-ALERT）とも連携し、災害情報、気象情報や国民保護情報などの緊急放送も行います。

また、この端末機はテレビ機能もついていて、町内および矢祭町内の端末同士で無料通話が可能です。

塙町の6町村が連携して事業を行ってきました。なお、塙町が代表となり、すべての契約などを行っています。

利用者の声

聞くだけでなく、町からの情報をいつでも見られるのがいいですね。現在子育て真っ最中なので、子育てに関する情報を多く載せてくれると助かります。テレビ電話は、子どもの顔を実家の親に見せられるのがうれしいですね。I-P告知端末機が、町の活性化につながることを期待します。

吉田 優子さん
(本町)

「光」の町で充実した生活 I-P告知端末機 本格運用を開始



町内全域に光が敷設

2009年度から整備を進めてきた情報通信基盤整備（ICT）事業。町内全域に光ファイバー網が整備され、高度情報化社会に対応できる体制が整いました。

昨年の広報はなわ6月号でも掲載しましたが、今回の事業は、泉崎村・矢吹町・棚倉町・矢祭町・鮫川村、そして塙町の6町村が連携して事業を行ってきました。なお、塙町が代表となり、すべての契約などを行っています。

ICT事業は、町が国の中地域情報通信基盤整備推進交付金」を活用して行った大きな事業です。これによって、電話機能もついていて、町内および矢祭町内の端末同士で無料通話が可能です。

また、この端末機はテレビ機能もついていて、町内および矢祭町内の端末同士で無料通話が可能です。

（J-ALERT）とも連携し、災害情報、気象情報や国民保護情報などの緊急放送も行います。

町では、情報過疎・情報格差の解消を図るために、2009年度から光ファイバー網の整備を進めてきました。3月11日に発生した東日本大震災の影響により工事が遅れましたが、7月1日からI-P告知端末機による町からの試験放送を開始しました（8月1日から本格運用を開始しています）。現在どのような内容を放送しているのか、また、今後の可能性について紹介します。

●老朽化した防災行政無線に代わる告知放送」が実現しました。

地デジは、役場で受信した放送波を町内の難視聴世帯へ再送信しています。インターネットは、町内全域でより便利に利用が可能になりました。「光」は従来のADSLやISDNに比べて通信速度が格段に速く、データ量の大きい動画を見たり、ソフトをダウンロードしたりするときにストレスなく利用できるようになりました。

フレッツ光は、NTT東日本への申し込みが必要。これまで町の情報などをお知らせしてきた防災行政無線は、光ファイバーを利用したI-P告知端末機による告知放送になりました。これにより、町

郵便物を届け続けて37年

富田 正さん(那倉) 黄綬褒章を受章

郵便集配業務精励＝
郵便集配受託者



陸上幕僚長名の感謝状

鈴木康博さん

予備自衛官派遣に協力 防衛省陸上幕僚長から感謝状が届く

この度、防衛省陸上幕僚長名の感謝状が町に届きました。これは、東日本大震災における災害派遣において、予備自衛官の災害招集に協力したことに対するものです。派遣されたのは鈴木康博さん(山形字大畑)で、4月24日から10日間、被災地で活動しました。鈴木さんは昭和44年から4年間、陸上自衛隊宮城県多賀城駐屯地・第一教育連隊に所属。退官後は予備自衛官に登録し、災害時の派遣に備えていました。



左から：園部武史局長、吉川善明課長代理



結婚祝金を受け取る堀さんご夫妻

☎ (43) 2112

まち振興課地域づくり係

堀町結婚祝金の贈呈式が7月20日(水)、役場応接室で行われました。菊池基文町長が、堀和彦さん・綾子さん夫妻(片貝)ほか2組に結婚祝金を手渡しました。町では、結婚し堀町に定住する方を応援します。

今年度の結婚祝金贈呈者は、今回の3組を含め8組になりました。町では、結婚し堀町に定住する方を応援します。

- 結婚祝金贈呈者**
- 堀 和彦さん・綾子さん (片貝)
 - 伊藤 亮さん・藍さん (板庭)
 - 上妻久明さん・明希子さん (西河内)



いつまでもお幸せに 3組に堀町結婚御祝金を贈呈

要件
年齢要件なし。過去に結婚祝金の支給を受けた方は対象外
申請期限
婚姻届が受理された日から起算して3ヵ月以内

町では、町内の結婚をするすべての方を対象に、結婚祝金を支給しています。
年齢要件なし。過去に結婚祝金の支給を受けた方は対象外

ZOOM-UP HANAWA 2011



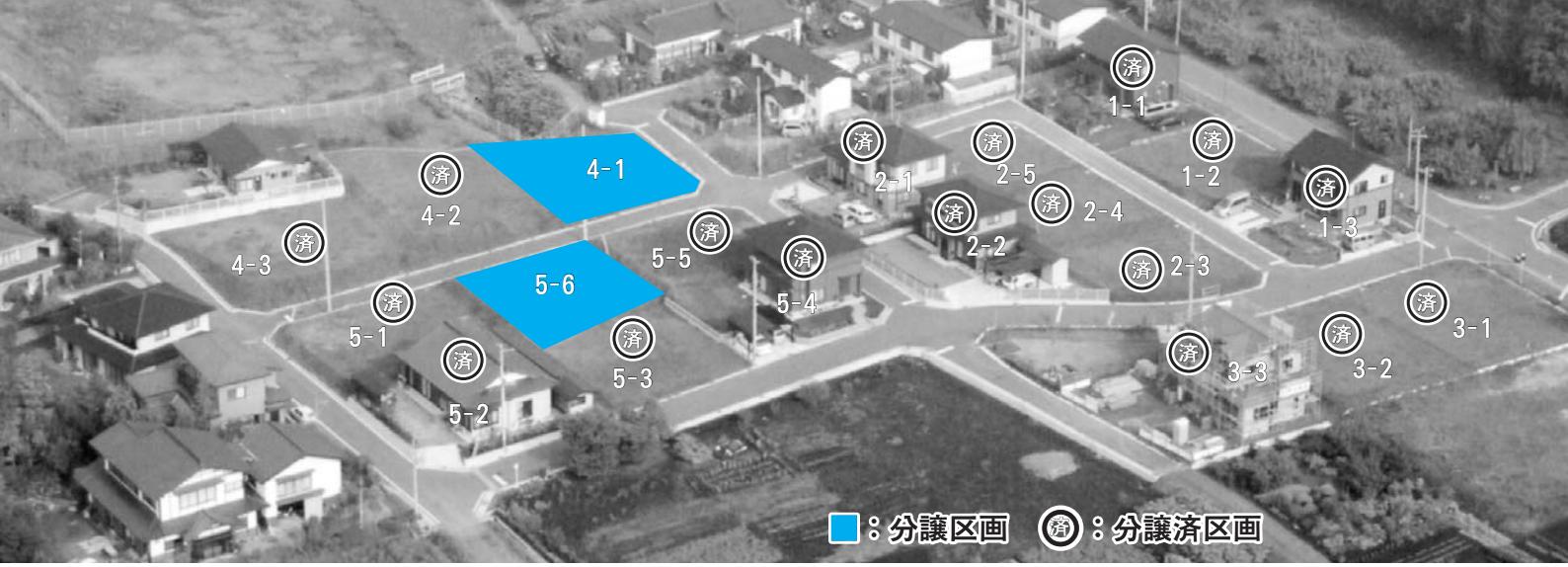
「受章はみなさんのおかげ」喜びを語った富田さん

Profile とみた・まさし

那倉字塚野・61歳
水戸短大付属高卒
昭和49年から、那倉地区で郵便集配業務を続けている

富田正さん(那倉)が郵便集配業務奨励で黄綬褒章を受章しました。授賞式は6月29日(水)、東京都「グランドアーバン蔵門」で行われ、片山善博総務大臣から勲記および勲章の伝達を受けました。式典終了後には、皇居で天皇陛下への拝謁が行われました。

「楽しみに待っている人がいる」—使命感・責任感から、体調を崩して配達を休んだことは一度もないという富田さん。37年もの間、雨の日や風の日、そして雪の日も郵便物を届け続けている。昭和49年、親の面倒を見るため、5年勤めた日立市の会社を辞め実家に戻った。兄が集配業務をしていたときもあったため興味を持ち、以後、郵便集配業務に従事することになる。24歳のときだった。月曜日から土曜日までの毎日、90ccのバイクにまたがり、日本郵便事業石川支店堀原集配所で郵便物を仕分けし、配達先を目指す。配達担当地区は約100世帯で、多いときは一日70キロ走ることもある。「大変だったね」「ありがとう」—地域の人の温かい言葉で疲れも吹き飛び、頑張れたといふ。「大変だったね」「ありがとう」—地域の人の温かい言葉で疲れも吹き飛び、頑張れたといふ。「健康に留意して、授章に恥じない仕事をしていきたい」—富田さんが乗るバイクの音が、今日も地域に響き渡る。



南原ニュータウン 第3期 好評分譲中

物件概要

所在地	塙町大字台宿字南原地内
開発面積	7,907.56平方メートル
総区画数	20区画
分譲区画数	2区画
給水	塙簡易水道
生活排水	台宿地区農業集落排水処理施設
ガス	個別プロパンガス
※申し込みは随時、まち振興課で受け付けています。	

申込先および問い合わせ

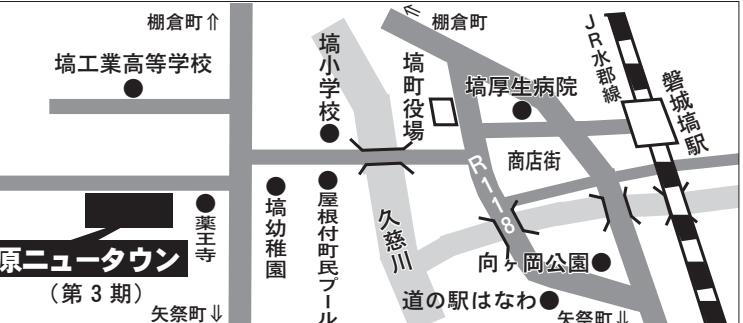
まち振興課商工観光係
☎ (43) 2112

「南原ニュータウン」は、塙町の高台にあり、風光明媚、南東向、ひな段方式のゆったりとした分譲地です。近くに県立塙工業高等学校、町立塙小学校、町立塙幼稚園があり、上下水道を完備し、町中心地には徒歩10分と、交通、生活、教育環境に恵まれています。この機会に、ぜひ、お申し込みください。

分譲区画

区画番号	4-1	5-6
分譲(m ²)	306.82	291.53
分譲坪数(坪)	92.97	88.34

価格は相談に応じます



第82回 塙流灯花火大会

平成23年8月15日(月)

塙の夏の風物詩、第82回塙流灯花火大会が、8月15日(月)には大型灯ろうをはじめ、申込みの灯ろうが次々と流れ、夜空には大輪の花火が打ち上がり、空と川面を鮮やかに照らします。また、町商店街通りには露店が並び、町商店会青年部によるイベントや、イルミネーションを行い、流花火大会に花を添えます。「踊り流し」を、栄町通りで行います。そのほか、商店街皆さんぜひ来場ください。

問い合わせ

塙流灯花火大会協賛会事務局(塙町商工会内)

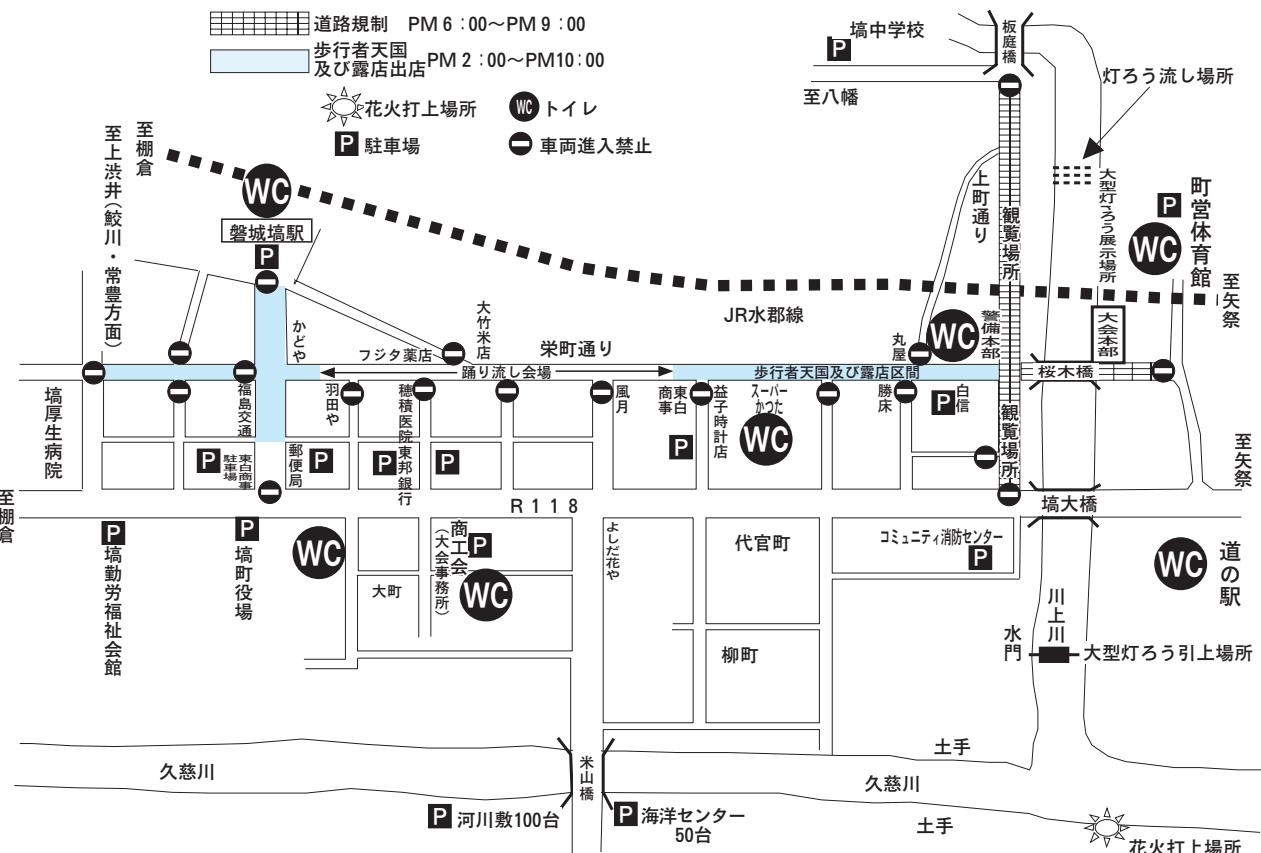
☎ (43) 0371

主な催し

○流灯大会	川上川	午後7時～午後8時15分
○施餓鬼供養	桜木橋	午後7時～午後7時10分
○花火大会	打ち上げは久慈川堤防	午後7時30分～午後8時15分
○露店販売	本町・栄町地内	午後2時～午後9時30分
○よさこい踊り	栄町通り	午後5時30分～午後7時
○豪華賞品が当たる大bingo大会		午後4時～
○マジックショー		午後3時30分～
○セグウェイ試乗		午後3時～午後6時
○青年部売店		午後3時～午後9時30分
○踊り流し(団体賞・参加賞あり)		午後8時～



8月15日
塙流灯花火大会案内図



自分の体は自分で守る

総合健診を実施します。忘れずに受診しましょう。

問い合わせ 健康福祉課健康推進係

☎ (43) 2115

受診される方は、特定健康診査受診券と垢
町総合健診受付票、健診受診録、保険証を必
ず持参してください。
※健診受診録は、必ず記入してから会場にお
越しください。

■国保の方	〔特定健診〕 〔各種がん検診〕 〔社会保険の扶養になつてゐる方〕	無料
■各種がん検診	500円ずつかかります	500円ずつかかります

■国保の方	〔特定健診〕 〔各種がん検診〕 〔社会保険の扶養になつてゐる方〕	無料
■各種がん検診	500円ずつかかります	500円ずつかかります

〈健診日程表〉

健診は指定された会場以外でも受診できます

実施日	受付時間	会場	対象地区
5日 (月)	午前 7:30~8:30	矢塚コミュニティ 消防センター	矢塚
6日 (火)	午前 7:30~8:30 午前10:00~10:30	片貝分館 折笠集会所	片貝 折笠
7日 (水)	午前 7:30~8:30 午前10:30~11:00	木野反分館 前田集会所	湯岐・木野反 前田
8日 (木)	午前 7:30~8:30 午前10:30~11:00	那倉分館 大蕨分館	那倉 大蕨・大畑
9日 (金)	午前 7:30~8:30 午前10:00~10:30	田代分館 丸ヶ草分館	田代 田野作・山形
10日 (土)	午前 7:30~9:30	川上1・2・3・4 森之根	川上1・2・3・4 森之根
12日 (月)	午前 7:30~8:30 午前10:30~11:00	板庭集会所 堀越集会所	板庭・中塚 堀越・小高
13日 (火)	午前 7:30~8:30 午前10:30~11:00	東河内分館 西河内分館	東河内1・2 西河内
14日 (水)	午前 7:30~9:30	常豊地区公民館	水元・八幡・赤坂・ 常世中野・竹之内
15日 (木)	午前 7:30~8:30 午前10:30~11:00	高城地区公民館 真名畠分館	植田 真名畠
16日 (金)	午前 7:30~8:30 午前11:00~11:30	伊香分館 上渋井集会所	伊香 上渋井
17日 (土)	午前 7:30~9:30	稻沢 台宿1・2	稻沢 台宿1・2
20日 (火)	午前 7:30~8:30	上石井分館	上石井
21日 (水)	午前 7:30~9:30	塙農村勤労福祉会館	塙5・6
22日 (木)	午前 7:30~9:30	塙農村勤労福祉会館	塙1・2・3・4

がんばろう！はなわ

塙町に対する多くの義援金・支援金など
が届いていますのでご紹介します。

寄託された義援金・支援金などは、有効
に活用させていただきます。

※6月28日から7月31日まで。

■OKゴルフクラブ 様	100,000円
■塙町消防団平成22年度退職者有志一同 様	16,000円
■三本松暎子 様(大町)	100,000円
■有限会社ケーフーズ生田目 様	10,000円
■矢塚区 様	33,000円
■植田区 様	50,000円
■白河地区電気工事協同組合 様	100,000円

あたたかいご支援
ありがとうございます



麻山晃邦氏

麻山副町長の選任を同意

7月20日(水)に行われた平成23年度第6回塙町議会臨時会で、麻山晃邦(あさやま・てるくに)副町長の選任が同意されました。麻山氏は、東京都出身・早稲田大学法学部を卒業後、平成11年総務庁に採用。その後、行政評価局評価監視調査官、大臣官房秘書課秘書専門官(大臣政務官付)などを歴任。なお、塙町副町長には総務省からの出向となり、期間は平成23年8月8日から2年間です。



スイセンの球根を大切に掘り起こしました

思いを受け継ぐ 緑川さん(いわき市)のスイセン20万球

東日本大震災からの復興を目指し、道の駅はなわの河川敷に「スイセン」を新たに植えることになりました。スイセンの球根は、いわき市田人町の緑川潔さんから20万球を譲り受けました。緑川さんは30年ほど前から20万球にスイセンを育てていて、毎年満開になる4月には大勢の観光客が訪れ、地元でも親しまれていました。栽培のきっかけは、こんにゃくづくりをやめたとき、庭先に咲いてあつたスイセンを見てこの花をたくさんの人に見せたいという思いでしたからだそうです。今年は震災の影響で手入れを手伝つた

てくれていた地区のボランティアや緑川さん自身も高齢といふことで、スイセン栽培をやめようと思つていました。そんなとき、塙町から球根を譲つてももらえないかと相談されたそうです。緑川さんは、「ダメだ」と、快く返事をしました。今は亡き妻と栽培を始めたリ亞づくりで実績のある塙町なら、安心してまかせられる。きっとときれいに咲かせてくれます。緑川さんは、「だとう」と、いうスイセン。「愛情を持って育ててきた。子どもを嫁に出すような気持ち」と、話してくれました。緑川さんのいがつまつたこのスイセン。いわきから移動し、塙の地で

みどりかわ きよし
緑川 潔さん(いわき市田人町・75歳)
妻や地区の方と大事に育ててきたスイセン。思い出がたくさんありますが、塙町の熱意に心動かされ、今回全ての球根を譲ることにしました。花をいっぱい愛し、かわいがり、長く育ててほしいと思います。花が咲くころになったら、地区の人みんなで塙町に見に行きたいですね。黄色いじゅうたんが大きく広がる光景を今から楽しみにしています。



「ふるさと訪問バスの旅」10月29日(土)~30日(日)に決定

東京塙会役員会が行われました



東京塙会役員会が7月9日(土)、東京都中央区八重洲の「スペースTOKU」で開催されました。役員13人と事務局職員3人が出席し、今年の「ふるさと訪問バスの旅」の実施を10月29日(土)~30日(日)に決定しました。多くの会員および友人知人の参加をお待ちしています。また、事務局から町の近況報告があり、情報交換を行いました。

問い合わせ

東京塙会事務局(まち振興課内)

☎ 0247-43-2112

震災に関する生活関連情報

詳しくは福島県のホームページをご覧ください
<http://www.pref.fukushima.jp/j/>

摂取や出荷などを差し控えるよう要請している福島県産の食品 平成23年7月28日現在

区分	品目	該当産出地	差し控えるよう要請している内容
野菜	非結球性葉菜類(ホウレンソウ、コマツナなど)	田村市(福島第一原発から半径20km圏内の区域)、南相馬市(福島第一原発から半径20km圏内の区域ならびに計画的避難区域)、川俣町(山木屋区域)、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村	摂取・出荷
	結球性葉菜類(キャベツ、ハクサイなど)		摂取・出荷
	アブラナ科花蕾類(ブロッコリー、カリフラワーなど)		摂取・出荷
	カブ		出荷
	セリ	相馬市	出荷
果実	ウメ	福島市、伊達市、桑折町、相馬市、南相馬市	出荷
	ピワ	南相馬市	出荷
	イチジク	南相馬市	出荷
穀類	小麦	広野町(暫定規制値を越えたロットに限る)	出荷
工芸農作物	生茶葉	塙町	出荷
	ナタネ	田村市	出荷
山菜	クサソテツ(コゴミ)露地	福島市、桑折町	出荷
	タケノコ	伊達市、相馬市、南相馬市、本宮市、桑折町、川俣町、三春町、西郷村	出荷
キノコ	原木シイタケ(露地)	飯舘村	摂取・出荷
	原木シイタケ(露地)	福島市、伊達市、本宮市、相馬市、南相馬市、田村市(福島第一原発から半径20km圏内の区域)、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、葛尾村、川内村(福島第一原発から半径20km圏内の区域)	出荷
	原木シイタケ(施設)	伊達市、本宮市、新地町	出荷
畜産物	原乳	下記以外の地域 福島市、二本松市、伊達市、本宮市、郡山市、須賀川市、田村市(福島第一原発から半径20km圏内の区域を除く)、白河市、喜多方市、相馬市、南相馬市、(福島第一原発から半径20km圏内の区域ならびに計画的避難区域を除く)、いわき市、国見町、川俣町(山木屋区域を除く)、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町、三春町、小野町、矢吹町、矢祭町、塙町、磐梯町、猪苗代町、三島町、会津美里町、下郷町、南会津町、新地町、大玉村、平田村、西郷村、泉崎村、中島村、鮫川村、川内村(福島第一原発から半径20km圏内の区域を除く)	出荷
	牛(12月齢未満のものを除く)	全市町村	県外への移動
	牛	全市町村	と畜場への出荷
水産物	イカナゴの稚魚(コウナゴ)	福島県において水揚げされたもの	摂取・出荷
	ヤマメ(養殖により生産されたものを除く)	秋元湖、檜原湖および小野川湖ならびにこれらの湖に流入する河川、長瀬川(酸川との合流点から上流の部分に限る)および県内の阿武隈川(支流を含む)、真野川(支流を含む)	採捕・出荷
	ウグイ	真野川(支流を含む)および県内の阿武隈川のうち信夫ダムの下流(支流を含む)	採捕・出荷
	イワナ	福島市内の阿武隈川本流および支流	採捕
	モクズガニ	真野川本流および支流	採捕
	アユ(養殖により生産されたものを除く)	真野川(支流を含む)、新田川(支流を含む)および県内の阿武隈川のうち信夫ダムの下流(支流を含む)	採捕・出荷
	ホンモノコ(養殖)	川内村	出荷

塙町の水道水の検査結果

水道事業名	取水施設名称	検査日	検査結果
川上簡易水道	川上第1水源	7月14・16・18・20・22・24・26・28・30日	放射性ヨウ素、放射性セシウムとともに検出されています
	川上第2水源		
塙簡易水道	塙第1水源		
	塙第2水源		
	塙第3水源		
高城簡易水道	高城第1.2水源		
常豊簡易水道	常豊第1.2水源		

七夕に寄せて

「ふくしま復興へ私の祈り願い誓い」を募集しています

ふくしまの復興にむけた、あなたの「祈り」「願い」「誓い」を1枚の短冊に見立てたハガキに綴りお寄せください。

応募方法

- ・官製ハガキまたは私製ハガキ(100×148mm)の裏面に、ふくしま復興への祈りなどを、俳句や手紙、小論文、絵やイラストなど自由に表現してください。
- ・ハガキ表面の下段に次の内容を記載し、福島県総合計画課まで郵送またはご持参ください。

- (1) 作品区分 ①祈り ②願い ③誓い ④その他
- (2) 作品タイトル (3) 作者名 ペンネーム・匿名可
- (4) 郵便番号・住所(避難されている方は、避難前の住所も記載)

- (5) 応募者氏名 本名を記載(ふりがなも)
- (6) 電話番号
- (7) 学校名または職業
- (8) 年齢 年代を記載

■募集期間

8月15日(月)まで

応募作品の公表

応募いただいた作品は、カラースキャンし福島県総合計画課のホームページで公表します。また、県庁などにおいて作品展を実施します。

応募先・問い合わせ

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 福島県庁本庁舎5階
福島県総合計画課
「ふくしま復興へ私の祈り願い誓い」募集係
☎ 024-521-7923

子どもたちの自然体験活動や交流体験活動を実施する団体などへ補助をします

『ふくしまっ子夏の体験活動応援事業』

東日本大震災および原子力発電所事故の影響により、子どもたちが屋外で活動できる環境が少なくなっています。福島県と福島県教育委員会では、夏休みなどを利用して、子どもたちが心身の健康やリラックスを図るために自然体験活動や交流体験活動などを実施する団体などに対して、一定の要件で補助金を交付しています。

子どもたちの屋外活動事業を検討している団体などは、この補助事業を活用し、子どもたちにのびのびと活動できる機会を提供してみませんか。

問い合わせ

県南教育事務所 ☎ 0248-23-1666
教育委員会生涯学習課 ☎ 43-2644

夏の体験活動応援補助事業

補助対象期間

9月末まで

内 容 県内で実施する自然体験や交流活動(部活動も含む)、文化の再発見活動など

補 助 額 一人当たり宿泊費1泊7千円を上限とし、7泊まで補助(食事も含む)。その他、交通費・保険料も補助あり

被ばく線量の推計による「県民健康管理調査」が実施されます

県では、放射線の影響による不安の解消や将来にわたる健康管理を目的とした『県民健康管理調査』を実施します。

この調査は、3月11日～25日の行動記録を中心に、放射線による被ばく線量の推計評価などをし、その結果を一人ひとりにお知らせするものです。

■基本調査

○対象者

平成23年3月11日時点で県内に居住していた人(県外へ避難している人も対象です)

○方 法

問診票に自分で記入

○内 容 3月11日以降の行動記録(被ばく線量の推計評価)

※食事の状況など

○実施時期

平成23年8月以降

■詳細調査

○対象者

避難区域などの住民の人基本調査

の結果必要と認められる人
に把握するため、記載例を参考に、早めに当時の行動を記録(メモ)しておくようにしてください。

■調査全般に関する問い合わせ

福島県災害対策本部 救援班
県民健康管理チーム

☎ 024-521-8028

■問診票の記入方法に関する問い合わせ

福島県立医科大学 県民健康管理調査事務局

☎ 024-549-5130

滞在場所	時刻			地名・施設名
	6	12	18	
(例)	屋 内	↔ ①	↔ ④	↔ ④
	移 動		↔ ③	
	屋 外	↔ ②	80分	↔ 90分 ⑤

- ①自宅
- ②自宅の畠
- ③車内
- ④避難所(○○体育館)⑤△△××町○○
- ⑤△△××町○○

若伊香組

①②「わっしょい！わっしょい！」声を張り上げながら駆け抜ける ②円陣を組み、気合いを入れ直す ③⑤地域みんなで祭りを盛り上げます ④出発前にお祓いを受け、身を清めます



②



③



④



⑤



⑥

わっしょい! 地域の誇りを守る 伊香おすわさま



①

7月22日(金)深夜から7月23日(土)にかけ、100年以上も前から続いている伊香地区の「おすわ(諏訪)さまの祭り」が行われました。このお祭りは、病難除の縁起行事で、毎年土用丑の日前後に行われています。

22日(金)深夜、地元若組のメンバーが伊香分館に集合。100kgのもち米をつき上げ、ご神体に巨大な鏡もちを奉納しました。23日(日)早朝には、数本の杵にもちをからませ、地区内を練り歩きました。

地域の方や子どもたちは山車を引き、この祭りを盛り上げてきました。ふるさとを離れて生活する伊香地区出身の多くの若者たちは、このお祭りのために帰省するそうです。全国的に珍しいこの奇祭。伝統が受け継がれることを願ってやみません。

永年にわたる活動に感謝

退職消防団員へ退職辞令を交付



退職消防団員への退職辞令交付式が6月29日(水)、塙農村勤労福祉社会館小研修室で行われました。今年3月31日付けで退職した元団員に対し、木田廣明団長が退職辞令(23人)を一人ひとりに交付し、永年の活動と活躍に感謝しました。その後、退職団員を代表して高縁武文さん(湯岐)からあいさつがありました。

塙町消防団退職団員 (平成23年3月31日付け・敬称略)

退職時もしくは最高階級	氏名
副団長(本団)	阿部 賢一
分団長(第3分団)	渡辺 雅男
分団長(第4分団)	高縁 武文
分団長(第5分団)	仁後 正博
第1班長(第1分団第1班)	石井 義行
第1班長(第1分団第3班)	菊地大一郎
第1班長(第1分団第5班)	稻守 康人
第1班長(第2分団第4班)	芳賀 克也
第1班長(第4分団第1班)	益子 勝範
第1班長(第4分団第3班)	大森 裕之
第1班長(第5分団第1班)	吉成 洋勝
第2班長(第4分団第4班)	笹嶋 守
団員(第1分団第3班)	穂積 克宏
団員(第2分団第1班)ラッパ隊長	吉田左一郎
団員(第2分団第2班)第1班長	保住 明人
団員(第2分団第3班)	小松 拓朗
団員(第2分団第4班)	菊池 敏実
団員(第2分団第4班)	藤田 隆啓
団員(第4分団第2班)第1班長	八幡 正寿
団員(第4分団第2班)	菊池 基裕
団員(第4分団第4班)	神永 一
団員(第5分団第4班)第2班長	大越 忠道
団員(ラッパ隊専属)第2班長	白石 義文

企業を訪ねて

岡本工業株式会社塙第二工場が完成—竣工祭を開催



第二工場の外観



塙第一工場
塙第二工場
工場長
菊池健児さん
(植田在住)

3年ほど前から、付加価値をつけるための2次加工にチャレンジするため検討を重ねてきました。現在、電気自動車のニーズが高まっています。それに応えるため、今ある施設と新たな施設のコラボレーションを図り、それに通用する製品をつくっていきたいと思っています。地元にある企業として、これからも町と協力していきます。

岡本工業株式会社塙工場(伊香・東京都本社)が、西河内字上福沢地内の塙林間工業団地内に塙第二工場を増設しました。竣工祭が7月27日(水)に行われ、関係者20人が出席し、岡本芳寛取締役社長や菊池健児工場長、菊池基文町長などが玉串をささげ完成を祝いました。



完成を祝いました(竣工祭の様子)

同社は既存の工場(敷地面積4,294・64平方㍍)を、町を通して購入。改修工事を行い、8月から操業を開始しています。自動車エンジン関連部品の旋削加工を中心とした業務を拡大してきた同社。電

図書館情報

8月の テーマ

愛と平和の本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めています。中の中の場合、予約もできます。
☎(43)0808



「チロヌップのきつね」

たかはし ひろゆき／文・絵
金の星社



●ものがたり

戦争が激しくなったころの話です。チロヌップと呼ばれる小さな北の島で生まれた二匹の子ギツネは、親ギツネや番小屋の老夫婦に見守られながらすくすくと育っていました。ところが、島に兵隊が上陸し、ぼうやギツネと父さんギツネは次々に銃に倒れ、ちびこギツネと母さんギツネにも悲しい最後が・・・。

親子のギツネ、素朴で優しい番小屋の老夫婦。戦争を願わないこれらの弱い者たちを、容赦なく巻き込んでしまう戦争。戦争を憎むことは一言も使われていませんが、作者の戦争に対する静かな怒りが読む者の心にしみこんできます。

シリーズに「チロヌップのにじ」「チロヌップの子 さくら」があります。

町職員の人事異動

7月1日付け。()内は旧任



松本利治さん



石黒 勲さん

水道課課長補佐兼農業集落排水係長=齊藤 智

(水道課課長補佐兼農業集落排水係長兼下水道係長)

水道課副主幹兼下水道係長=小野政広

(総務課副主幹)

まち整備課主査=割貝直輝

(まち整備課主任主事)



菊池明夫さん

公平・中立な立場から審査 固定資産評価審査委員を任命

6月定例議会で固定資産評価審査委員の承認を受けた松本利治さん(真名畑)および石黒勲さん(片貝)への任命書交付式が7月29日(金)、町役場応接室で行われ、菊池基文町長が任命書を交付しました。任期は、平成26年7月18日までです。

引き続き委員会が開かれ、委員長に安津畑輝男さん、職務代理者に松本さんを選出しました。

教育環境の充実を図る 教育委員に菊池明夫さんを任命

6月定例議会で教育委員任命の承認を受けた菊池明夫さん(板庭)への任命書交付式が6月28日(火)、町役場応接室で行われ、菊池基文町長が任命書を交付しました。菊池委員は現在、教育委員会委員長を務めていて、今回2期目になります。なお、任期は平成27年6月20日までです。





はなわふれあい スポーツクラブ通信

今後の主な活動予定

運動不足の方、仲間の輪を広げたい方、ストレス発散したい方など、たくさんの参加をお待ちしています。

一般対象

○グラウンド・ゴルフ

(9/7より再開)

日時：毎週水曜日 10:00～11:30
会場：久慈川河川敷グランドゴルフ場（天候やグランド状況が悪い場合は、塙町営体育館）

○卓球

日時：毎週木曜日 10:00～11:30
会場：塙町営体育館 剣道場

○バドミントン

日時：毎週木曜日 19:00～21:00
会場：塙町営体育館 アリーナ

○カローリング (9/2より再開)

日時：毎週金曜日 9:30～11:00
会場：塙町営体育館 アリーナ

○プロ野球観戦ツアー

東北楽天 対 北海道日本ハム
日時：8/6(土) 12:00 塙町
会場：クリネックススタジアム宮城

8月号

はなわふれあいスポーツクラブでは、会員を随時募集しています。スポーツでさわやかな汗をかきませんか。
詳しくは下記までご連絡ください。

○どろ祭り

内容：どろんこバレー、
どろフラッグ
どろ綱引き
どろ宝拾い

日時：8/14(日) 8:30

会場：道の駅はなわ河川敷
※どろ祭り参加者募集中です。
あなたも泥まみれになってみませんか？

女性対象

○きれいスタジオ（水中体操教室）

日時：毎週火曜日
※8/23(火)のみ8/24(水)へ変更
19:00～20:00
会場：塙町B&G海洋センタープール

○きれいスタジオ（エアロビクス、ヨガ）

日時：8/25(木)から計5回
19:30～20:30
会場：塙町公民館

○サークル活動

○スマイル（バドミントン）
○さわやかクラブ（レクダンス）
○バレーボール教室
○6区卓球サークル
○塙野球教室
○塙町インディアカ協会
○奥州すっこけ隊（よさこい）
○植田バレー

携帯電話から
今すぐアクセス！

はなわふれあいスポーツクラブ

URL <http://hanawa-fsc.jp>
mail sgs@town.hanawa.fukushima.jp
塙町大字塙字桜木町80(塙町公民館内)
☎ 43-2644 FAX 43-1883

無料開放します あぶくま高原美術館

塙町立あぶくま高原美術館（元那倉小学校校舎）では、福島県民の日記念月間として、下記の期間を無料開放します。

この機会に、塙町出身の書家・鈴木清水氏や画家の杉三郎氏の名作そして町民の皆さん的作品をぜひご覧ください。

■期間 8月12日(金)～21日(日)

■開館時間 午前10時～午後4時

■休館日 月曜日

■入館料 キャンペーン期間以外は大人300円、
大学・高校生200円 小中学生100円です。

■問い合わせ 生涯学習課 ☎ 43-2644
あぶくま高原美術館 ☎ 42-2510

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 出場選手募集

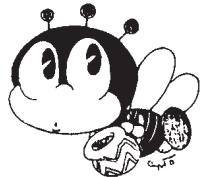
11月20日(日) 開催
白河～福島 16区間 96.2キロドル



あなたも塙町の代表として駅伝に参加しませんか。
中学生の部、高校生の部、一般の部、随時受付中です。

申し込み・問い合わせ

ふくしま駅伝塙町実行委員会（塙町公民館内）
☎ 43-2644



マナビ^{oo} はなわ

～塙町生涯学習だより～ 8月号

発行：塙町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課 ☎ 43-2644

■塙町公民館 ☎ 43-0320

■まなびとファインダー URL
<http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html>

爽やかな初夏の尾瀬を楽しむ 町民ハイキング



▲ニッコウキスゲが見事でした

今年は桧枝岐村の尾瀬。民ハイキング」が7月17日に実施され、72人が参加しました。天気にも恵まれ、高原の爽やかな風を受けながら、夏の暑さをひととき忘れました。バスで塙町を朝6時に出発し、10時過ぎに尾瀬へ到着。沼山峠から尾瀬沼まで往復約3時間の木道を散策しました。塙町に帰るころには午後7時を過ぎていますが、朝は初対面同士だった参加者も、帰りのバスの中ではすっかり仲良くなり、笑顔と会話が絶えませんでした。



ながよしルーム 参加者募集

8月は「バスに乗ってプラネタリウムへ行こう」です。

棚倉町の倉美館で、プラネタリウムを鑑賞します。お子さんとゆっくり、すてきな星空を眺めてみませんか？

どなたでもお気軽にご参加ください。初参加者、大歓迎です。

*なかよしルームは、0歳から幼稚園入園前の子どもとその保護者を対象にした子育て講座です。

■日 時：8月30日(火) 午前9:30出発
町営体育館駐車場から倉美館まで、スクールバスで移動します。

■参加費：大人300円、小学生未満は無料

■申込期限：8月25日(木)まで

■申し込み：塙町公民館 ☎ 43-0320

*今回はバスの定員がありますので、申し込みが必要です。定員30人になり次第、締め切りますのでご了承ください。

TOWN TOPICS

まちの話題



危険を伴う作業にくぎ付け

－塙工業高等学校でキュポラ実習～塙中3年生が見学－

塙工高のキュポラを使った融解実習が7月15日(金)、同校の鋳造実習室で行われました。キュポラとは鉄を溶解する炉。機械科2年生が実習を行い、塙中3年生111人が見学しました。これは、中高一貫教育の一環として行われたものです。実習は、真っ赤に溶けた鉄が1300度にもなる危険な作業。中学生たちは、その作業を真剣に見入っていました。キュポラを使った実習は県内では唯一同校で行っていて、全国的にも珍しいものになっています。

あなたの地区の話題を提供してください。

取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、総務課☎43-2111までご連絡ください。



生命を守る大切な仕事

－塙厚生病院 高校生による一日看護体験－

看護師を目指す県南地域の高校2年生および3年生16人が7月26日(火)、塙厚生病院で一日看護体験を行いました。これは、社団法人福島県看護協会が、看護という仕事への理解を深め進路への手掛かりにしてほしいと毎年開催しているものです。塙厚生病院でも毎年行われ、参加者は3つのグループに分かれてそれぞれの看護業務を体験。最後に「命の大切さ」についての講義を聞きました。参加者たちは、体験を通して看護への関心をさらに高めていました。

片貝川のシンボルに

－「かっぱの石像・かん吉くん」お披露目式－

元片貝小学校長で、現在、国立那須甲子少年自然の家所長を務める佐藤修さんから6月に寄贈された「かっぱの石像・かん吉くん」片貝地区の河童のすり鉢遊歩道入口に設置され、そのお披露目式が7月24日(日)に行われました。式には、語り部・菊池トヨさん、片貝川を守る会・高久三郎会長、農業体験ツアーで来町していた東京都練馬区民など約60人が出席しました。関係者による除幕の後、トヨさんが河童のすり鉢の語り部を披露し、出席者たちはその語りに聞き入っていました。



最終回に逆転し優勝

－塙野球少年団 第11回オール東山交流復興支援大会－



塙野球少年団(生方滉也主将、菊池強監督)が第11回オール東山交流復興支援大会で見事優勝しました。これは7月17日(日)・18日(月)の2日間、会津若松市で開催された大会で、同団は大熊町野球スポーツ少に9対1、いわき南野球スポーツ少に4対3で勝利。準決勝では富田エンジェルスに5対5の同点で抽選勝ち。決勝戦は強豪・小名浜少年野球教室と対戦。6回裏に1点を先制されましたが、最終回に2点を取り逆転に成功。その裏を抑え優勝しました。なお、金沢蓮選手が最優秀選手に選ばれました。

明るい未来へ第一歩を踏み出そう

－塙2区が棚倉警察署に大型灯ろうを設置－

塙2区(深谷正区長)が7月1日(金)、棚倉警察署玄関前に大型灯ろう・がんばろうキビタンを設置しました。同区では、大型灯ろうを警察業務推進や地域の安全のために棚倉警察署に毎年設置しています。「みんなで手をつなごう～未来へ第一歩～」をスローガンに作製された灯ろう。震災および原発事故で困難な状況にある福島県。明るい未来への希望が込められています。設置には、深谷区長ほか区民9人が訪れました。8月15日に行われる第82回塙流灯花火大会では、この灯ろうも流される予定です。

学校誕生をみんなで祝う

－片貝小学校および矢塚分校「創立記念集会－

片貝小学校の創立記念集会が7月4日(月)、矢塚分校は5日(火)に行われました。学校の歴史について調べたことを発表したほか、クイズやゲーム、昔行われた運動会の種目などを再現し楽しい時間を過ごしました。今年、本校は創立138周年年、分校は創立60周年になります。これまで1068人が卒業した片貝小学校。今年度、同校最後の卒業生は2人です。児童たちは、改めて自分たちの学校の歴史を知る機会になりました。

(写真は、本校の創立記念集会)





高城小学校 2・3年生担当
しばまきこ
柴 真希子先生

- ・茨城県大子町出身 A型
- ・趣味 美術鑑賞
- ※自宅が美術館になっている
そうです
- ・特技 華道(師範の免許あり)
- ・好きな食べ物 中華料理
- ・好きな芸能人 福山雅治
- ・好きな言葉 「一生懸命」

今月は、高城小の柴真希子先生を訪ねました。柴先生は、前任地の学校は矢祭町立関岡小学校で、高城小に着任して2年目です。先生になったきっかけを尋ねると、「子どもたちの笑顔が好きで、その成長を日々感じることができることの素晴らしい職業だから」と答えてくれました。クラスの児童について尋ねると、「3年生は2年生のお手本になるよう、2年生は3年生に追いつこうと、お互いによい影響を与えながら生活していますよ」と、笑顔で話してくれました。



ぼくの先生

わたしの先生

シリーズ 256

児童たちの声

児童たちに、「柴先生は、どんな先生ですか」と質問しました。

- 柴先生はどんな先生かな?

「声が高いんです」

「いつもニコニコ笑顔で、それを見るとぼくたちも笑顔になります」

- 先生のすごいところは?

「黒板に書く字が大きくてとても上手だよ」

- 先生に一言!

「いつも優しく教えてくれてありがとう!
これからも勉強頑張りま~す」

「みんな仲良く明るくて、じ学(自分で学習)をがんばるクラスです」と話してくれた児童たち。また、「ちょボラ(ちょこっとボランティア)を行っているのが高城小のいいところだよ」とも話してくれました。2年生5人、3年生11人のクラス。複式学級ですが、少人数を生かした教育で、これかも児童たちの良いところを伸ばしていってほしいと思います。

(広報担当)

●次回は塙中学校の予定です。

はなわSnapshot



誕生日を迎えた本多しげさん(左から2番目)

長生きの秘訣は「マイペース」

塙町の最高齢者・本多しげさん(板庭)が7月28日(木)、102歳の誕生日を迎えました。菊池基文町長が自宅を訪問し、しげさんや家族と楽しく会話をしました。長生きの秘訣は「マイペース。健康管理」だそうです。これからもお元気で!

こんなちは赤ちゃん		6月16日から7月15日までの届け出	
出生児名	父・母	月/日	住 所
高縁みさ	藤田	6/28	石沢
佐希	鈴木	6/23	菊池
武文・佐智子	小林	6/17	小林
6/30	来夢	6/16	鈴木
湯岐	悠都	6/14	菊池
昭星	好太郎	6/14	小林
裕昭	光訓	6/14	鈴木
6/24	伸夫	6/14	菊池
大野	美加	6/14	小林
常世北野	台宿	6/14	鈴木

※「おくやみ申し上げます」は19ページに掲載しています。

随リレー

想



瀬谷 節子さん
(東河内)

職業 主婦
趣味 俳句、絵手紙
好きな言葉 「和顔愛語」

お持ちかね。あなたの出番です。
シリーズ 261

巨大地震の時、本棚が前のめりに倒れた。大きな余震が来るのに違いないと思った私は、しばらく放置していました。日々のニュースは、徐々に眞実を写し出している。「放射能は心配ない」と言われても、心底明るい気持ちにはなれない。原発事故の収束には時間がかかるだろう。そんな折、散らばった本の中の一

貧しい人・孤独な人・寂しい人に、いつも寄り添っているマザー・テレサ。厳しいながら、慈愛に満ちたまなざし。3枚のサリーの他、持ち物のなかつたマザー・テレサ。私は、本をいとおしく両手に挟んだ。テレビは、震災の惨状を今日も映している。「生命・生きること」を考えずにはいられない。

老いを感じるときが多くなってきました。体力的なものはもちろん、知的な面そして一番大切なことと思われるそのことに対する感性(TPO対応)が減少していることにちょっと悲観的になってしまっています。未知との遭遇が好奇心をもたらし、進取の精神として行動力・活動力に生きてきたからかもしれない。占領されていた時代に生を受け、サンフランシスコ講和条約発効とともに平和日本をうたい、経済の高度成長の恩恵を享受し、幸福を味わった。しかしながら、近年社会的格差が

はなはだ勝手な話と思うが、われに続く若き世代には、今(幸福の階段を登りつめた時)こそ、過去の歴史・教訓に学びながらもそれが減少していることによつて、その改革(発想)実現にささやかながら協力することこそ団塊世代の役目ではと思っている。(常世の国からお呼びが掛かるまで)

■ 次回は荒川守夫さん(常世中野)です。



荒川 正康さん
(常世中野)

職業 団体職員
趣味 小旅行
好きな言葉 太公望

広がり、これがわれわれが考えていた理想の社会(完熟社会)なかという疑念(憂愁の時)が沸き、時あかも社会の第一線からリタイアする多くの団塊の人々が結果としてこのような社会(現実)を作り、後世の世代に負担を強いることになったと思う。

3・11以降「縛」という文字がよく目につくが、「縛」という文字に感性を感じる。親から子、子から孫、これも「縛」の一つでは、故に罪滅ぼしではないが、団塊の世代の一人として微力ながら私も培った識見を地域社会「現実的な村社会(コミュニティー)」の形成と発展に関わっているつもりである。

はなはだ勝手な話と思うが、われに続く若き世代には、今(幸福の階段を登りつめた時)こそ、過去の歴史・教訓に学びながらもそれが減少していることによつて、その改革(発想)実現にささやかながら協力することこそ団塊世代の役目ではと思っている。(常世の国からお呼びが掛かるまで)



白石 隆さん
東京都府中市在住
(上町出身)

No.91

このコーナーでは、東京縛会の皆さんのおかしい思い出やふるさとへの思いを紹介しています。

本町と上町での思い出

時はさかのぼること50有余年、昭和のど真ん中の32年。本町(3区)で生まれ、その後上町で高校まで過ごし、現在は東京都府中市に妻と犬一匹と暮らしています。境内には両親とも健在で、時折帰省しています。

まず、9歳くらいまで過ごした本町での思い出は、幼いころなので記憶は曖昧ですが、所々鮮明によみがえります。当時の家は商店街にあり、遊び場はもっぱらご近所さんの庭でした。その庭で、心に残るというか体力(走力)がいる遊びがありました。その「遊び名」も覚えていませんが、まことに

地面に大きな円を描き、それを不等分に分け、各々に行き先(近所の商店名や遠い所は松岡橋など)を書き、石を頭越しに投げ入れ、入った場所まで走って行って戻ってきて来て、鬼?が隠した宝物?を探すという遊びでした。

商店街を抜け、遠い場所まで行って帰って来ると、そこの遊びが終了していることもしばしばで、体力的にキツイ遊びということが記憶に残っているのでしょう。その当時の商店街は、幼心にもぎやかで活気があつたと思います。今は、街を歩いても建物が無かつたりお店をやめていたりとか、時代の流れというのが少々寂しく思います。

さて、本町から上町へ突き進むと、川の中ほどにはきんぎよ草(梅花藻)などがあり、水もきれいでましたね。今はその面影もなくなり残念です。せめてもなくなり残念です。せめて、水中植物などが自生できる自然環境に少しでも戻ってほしいと思っております。

故郷「塙」も、大震災(原発)の被害から一日も早く元に戻ることができますよう祈っております。

●休日の当番医院

8月7日	東館診療所 ☎46-3165	9月4日	おおひら整形外科クリニック ☎33-9448
8月14日	大木医院 ☎33-2424	9月11日	塙厚生病院 ☎43-1145
8月21日	金澤医院 ☎46-2312	9月11日	木村医院 ☎46-3528
8月28日	東白川中央病院 ☎33-3263	9月19日	あらまちクリニック ☎33-8018

(次回は、東京都杉並区在住の渡辺みち子さんです)

●町長と町を語ろうよ いつでもご連絡ください

町は、町民の皆さんのお手で支えられています。町長と気軽に話し合い、あなたの意見をお聞かせください。なお、出張などで町長が不在のときもありますので、町長と話がしたい場合には事前にご連絡をお願いします。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎43-2111

●今月の納税等

町県民税	第2期
国民健康保険税	第2期
後期高齢者医療保険料	第1期(納付書は8/12に送付します)
介護保険料	第2期
納期限	8月31日(水)

●町の人口 9,909人(7月1日現在)

男性	4,897人(±0)	世帯数	3,307戸(+9)
女性	5,012人(+11)	()内は前月比	
※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。			

▼先日、地域の子ども行事で、県外のある施設に7家族で行つてきました。広場で思いつき遊んだり、アユのつかみどり体験をしたりしました。笑顔いっぱいではしゃぐ子どもたちを見て、とてもうれしい気持ちになりました。福島県でも、放射能の心配をすることなく、子どもたちが思いっきり外で遊びるときが来るのを願ってやみません。



編集後記
関根宏一

印 発行・編集／塙町役場
刷／佐藤印務
刷所課
F T 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目番地
A E 963-5492
X L 0022447744331211211161
（）